

栽培カレンダー



●種まき ◡トンネル被覆 ●収穫 ※ミニ系ニンジンとはプランターで栽培できる。



栽培のポイントとして、ニンジンには涼やかな気候を好みますが、適温の幅は広く、高温下でもよく育ちます。秋冬の低温にも耐えて、ゆっくり生長を続けます。とくに根は低温に強く、根の肩まで覆土しておけば越冬も容易で、長期間収穫できます。形の整った良質な根を得るには、入念な耕うんと、良質な完熟堆肥の施用が欠かせません。発芽時の乾燥を避け、間引き、除草、追肥などの初期管理をしっかりおこなひましょう。

JA愛知西オリジナルキャラクター「レキ」

「家の光」2015年6月号
「家庭園芸」

豊富なカロテンで色鮮やか
ニンジン
原産地のアフガニスタンからトルコを経てヨーロッパに伝わった西洋種と、イランを経てアジアに伝わった東洋種があります。日本には江戸時代に中国から東洋種が、明治になって西洋種が伝わりました。現在は品種のほとんどが西洋種で、金時系は希少な東洋種です。豊富に含まれるカロテンは免疫力を高め、皮膚や粘膜を強くし、がん、心臓病、動脈硬化などに有効とされ、緑黄色野菜の代表格に位置づけられます。

6 追肥

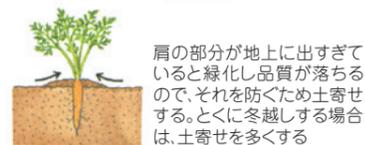
第1回 2回目の間引きが終わった本葉3~4枚の頃、畝の両側に軽く溝を作って施す

〈畝の長さ1m当たり〉
油粕 大さじ5杯
化成肥料 大さじ3杯



第2回 1回目の20~25日後。根の肩の上約1cmまで土を寄せる

〈畝の長さ1m当たり〉
化成肥料 大さじ5杯



肩の部分が地上に出すぎていると緑化し品質が落ちるので、それを防ぐため土を寄せます。とくに冬越しする場合は、土寄せを多くする

7 収穫

長根種
根先まで収穫するように、土をじゅうぶんに掘り上げて収穫する

根長は五寸系15~18cm、三寸系10~13cmが標準だが、家庭用はこれにこだわらず、順次収穫して利用するとよい



中間間引きしたものは葉ごと利用する

4 間引き・除草



第1回 本葉1~2枚の頃、3~4cm間隔に



第2回 本葉3~4枚の頃、7~8cm間隔に



第3回(最終) 本葉5~6枚で、根が直径1cmくらいに太り始める頃
三寸系は8~10cm間隔に
五寸系は12~15cm間隔に間引き

ここがポイント この時期が根の肥大盛期。間引きが遅れると混み合っ根が絡み、生育や品質を大きく損ねる

5 病虫害防除

キアゲハやハスモンヨトウ、アブラムシ、黒葉枯病、根腐病などの害が多い。早期発見して捕殺したり、薬剤散布したりして防ぐ



葉を食い荒らすキアゲハの終齢幼虫。若齢幼虫は黒褐色をしている



ハスモンヨトウはおもに夜間に葉を食い荒らす

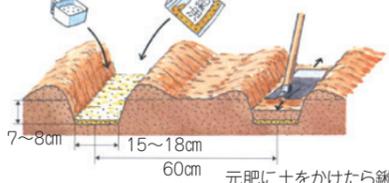
1 畑の準備

種まきの半月以上前に全面に石灰をまいて20cmの深さによく耕す
〈1㎡当たり〉
石灰 大さじ5杯



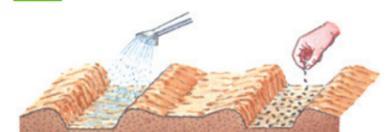
2 元肥入れ

〈畝の長さ1m当たり〉
油粕 大さじ3杯
化成肥料 大さじ3杯



元肥に土をかけた後、鋤を前後に何回も動かし、底面を平らにする

3 種まき



掘り上げた土をぬらすと覆土しにくくなるので、溝だけを狙ってじゅうぶんに灌水する



厚さ7~10mmに土をかけてから、鋤の背で軽く押さえて種を土になじませ、毛管水の吸水をよくする。乾燥が激しいときは、覆土を15~20mmと厚くする



2~3cmに切ったわらか粉殻くん炭で溝全面を薄く覆い、乾燥や雨にたたかれるのを防ぐ

○収穫した野菜を産直広場で販売してみませんか? 只今、産直会員募集中! お申し込みは、最寄りの産直広場へ!

地元農産物をPR! 金融事業

金融部では、地産地消を推奨して地元の農業をPRし消費拡大に繋げようと、地元の新鮮な農産物を特典とした様々なイベントを開催いたしました。当JA設立15周年を記念した特別企画では、15「イチゴ」の語呂合わせで地元のイチゴが当たる定期貯金キャンペーンを実施した他、産直広場一色下方店の新築移転オープンを記念して、農業応援チケットを同じく定期貯金キャンペーンの特典として進呈いたしました。また、年金の振り込みをご指定いただいた方の中から抽せんで、一宮市の料亭にペアでご招待し、地元の農畜産物をふんだんに使った豪華なお食事をお楽しみいただきました。今後も、様々なイベントを企画して、地元の農産物や農業をPRしてまいります。

定期貯金「イチゴ一笑」で甘くて美味しいイチゴをPR!



キャンペーンで進呈した甘くて新鮮な地元のイチゴと、イチゴのパウダーときな粉を混ぜ合わせた限定の粗品「ふわっと苺」

設立15周年を記念した定期貯金キャンペーン「イチゴ一笑」では、一宮市と稲沢市でイチゴを栽培されている農業者の皆様が丹精込めて育てた、とても甘くて新鮮なイチゴ1,500パックを、ご契約者様の中から抽せんでプレゼントさせていただきます。今後も、地元の農産物や加工品などを特典とした様々なキャンペーンに取り組んでまいります。

産直広場一色下方店開店記念! 農業応援チケット5,500枚進呈!



オープン初日、開店と同時に大勢の来店者で賑う店内

産直広場一色下方店が、今年の4月に新築移転オープンをいたしました。オープンを記念した定期貯金「農業応援キャンペーン」では、当JA産直広場全店舗でご利用いただける300円分の「農業応援チケット」を特典としてご契約者様に進呈いたしました。産直広場一色下方店は、オープン初日から大変多くのお客様にご来店いただき、産直会員の皆様も丹精込めて育てた野菜の消費拡大に繋げることができました。今後も地元の農業を応援する様々なキャンペーンに取り組んでまいります。

地元の恵で豪華な昼食を特典に! 年金振込口座指定50組をペアで! 老舗料亭「菊水」へご招待!



地元農畜産物で絶品料理を振る舞っていただいた菊水のご主人(左)と稲沢市平和町で栽培される白ダツを手にする牛田組合長

年金の振込口座を当JAにご指定いただいた方の中から抽せんで、50組100名様を一宮市にある老舗の料亭「菊水」にご招待する「年金受取口座ご指定キャンペーン」では、地元の食材をふんだんに使った豪華な昼食をご当選されました皆様にお楽しみいただきました。料理には、ナスやネギなどの一般的な野菜や白ダツ(サトイモ)の茎などの珍しい野菜など、一宮市と稲沢市で栽培、出荷される農産物をご当せん者皆様の好みに応じてご提供いたしました。地元の農産物を使ったキャンペーンは今が初めての取り組みでしたが、絶品料理の数々に、皆様には大変ご満足いただきことができ、地元農畜産物のPRに繋がりました。

